

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

ナラ枯れ被害くん蒸処理の実施



【檜山森林管理署】

令和8年4月下旬から5月下旬にかけ、昨年度当署管内で発生したナラ枯れ被害木のくん蒸処理を渡島森林管理署の協力を得て実施しました。くん蒸処理とは、シートで覆った木に、薬剤を気化させながら浸透させ、害虫を駆除する方法です。本年度は職員実行によるくん蒸処理業務を5回に分けて実行しました。くん蒸処理を行った場所の周辺には健全なナラ類が育っており、ナラ枯れ被害拡大防止の取組の大切さを改めて実感しました。



「外国樹種見本林」で森林ボランティア活動



【上川中部森林管理署】

6月5日、旭川市内にある「外国樹種見本林」において、一般社団法人旭川林業土木協会、旭川森人の会、旭川地方森林整備事業協同組合の会員120名による森林ボランティア活動を行いました。この活動は今年で13回目となり、歩道の草刈りやゴミ拾いを中心に作業を行いました。また、見本林の人気の一つでもある、フカフカの歩道の秘密「木材チップ」の敷設作業も行い、利用者が気持ちよく散策できる環境となりました。



「森と湖のまち」で未来につなげる森林づくり



【網走中部森林管理署】

「森と湖のまち」佐呂間町の植樹祭に先立ち、6月9日に佐呂間小学校及び若佐小学校をオンラインでつなぎ、佐呂間町、佐呂間町観光協会及び当署で“植樹祭前木育授業”を行いました。そして植樹祭当日は木育授業を受けた小学生を含む100名を超える町民の皆さんが参加しました。「これでサロマ湖の水がきれいになるね」と、森と湖のつながりをまっすぐ受け止めた小学生の一言に、心があたたかくなりました。



コンテナ苗の勉強会を開催しました ～未来の森林を育てる一歩～



【根釧東部森林管理署】

5月26日、別海町内の苗木生産者協力のもとコンテナ苗の勉強会を開催しました。コンテナ苗の育て方や生産の流れ、出荷に至るまでの工程について説明を受けた後、実際に苗をコンテナに移植する作業を体験しました。苗が小さく繊細なため、根や茎を傷つけないよう苦労しながら慎重に移植しました。年間10万本以上を移植されているとのことで、果てしない努力の積み重ねで森林が成り立っていることを改めて実感しました。



広報 「北の森林 国有林」 7月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

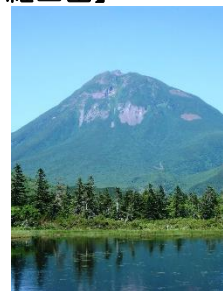
電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>



【今月の表紙 羅臼岳】

今月の表紙は、知床半島にある羅臼岳です。登山される際の情報や注意事項は、環境省のホームページ「[知っておくべき知床登山の心得](#)」をご覧ください。



今月の表紙